

第1回 HIT カーボンニュートラル人材育成協議会会議 会議記録

日 時：令和5年3月7日(火) 13:30~14:45

場 所：八戸工業大学 2号館3階大会議室

出席者：23名(別紙詳細)

次 第：1. 挨拶

HIT カーボンニュートラル人材育成協議会 会長

八戸工業大学 学長 坂本 禎智

2. 議事

(1) HIT カーボンニュートラル人材育成協議会構成員(案)について

(2) 副会長の指名について

(3) HIT カーボンニュートラル人材育成協議会事業計画について

(4) 八戸工業大学カーボンニュートラル教育プログラムについて

(5) その他

資 料：1. HIT カーボンニュートラル人材育成協議会会則

2. HIT カーボンニュートラル人材育成協議会構成員(案)

3. HIT カーボンニュートラル人材育成協議会事業計画

4. 八戸工業大学カーボンニュートラル教育プログラムについて

1. 挨拶

HIT カーボンニュートラル人材育成協議会 会長 八戸工業大学 学長 坂本 禎智

協議会設立の背景について社会情勢を交えて説明があり、カーボンニュートラルの実現に向けた人材育成を担うべく、産学官一丸となって取り組みたいと協議会設立の趣旨を含め挨拶があった。

2. 議事

議長：八戸工業大学 学長補佐 金子 賢治

(1) HIT カーボンニュートラル人材育成協議会構成員(案)について

資料2に基づき、現時点での構成員(案)を確認した。今後も随時、関連する企業・団体・自治体の参画を求めることの説明があった。また、出席者より自己紹介を兼ねた挨拶があった。

(2) 副会長の指名について

一般社団法人青森県工業会の東康夫会長を副会長として指名した。

(3) HIT カーボンニュートラル人材育成協議会事業計画について

資料1に基づき、会則の内容確認を行った。資料3に基づき、協議会について今後の事業計画の説明があった。

(4) HIT カーボンニュートラル教育プログラムについて

(担当：八戸工業大学 工学科 教授 折田 久幸)

資料4に基づき、今後本学が展開していくカーボンニュートラル教育プログラムについて説明があった。これに対し出席者を交えて意見交換を行った。(次頁詳細)

(5) その他

次回の会議開催について、9月頃を予定しているとの案内があった。詳細が決まり次第、改めて連絡することとした。

○質疑応答

・カーボンニュートラル教育プログラムは、学部・学科の新設により行うものか？また、対象は誰か？

→新設は2027年度を目標としている。それに先行する形で、2023年度から開始する。横断型プログラムとし、全学部学科の学生を対象とする。今後、社会人向けのプログラムも検討予定である。

・カーボンニュートラル教育プログラムには、原子力関連の教育も含まれているか？

→原子力工学プログラムを設けており、今回は切り離して考えている。今後、必要に応じて組み込んでいく。

○出席者からの意見

・教育内容に学内見学が盛り込まれているが、学外装置も見学することも知見を広げる手段になるのではないか。また、国内だけでなく世界のカーボンニュートラルに関する取り組みについて講義してはどうか。核融合関連施設として、要望があれば出前授業やインターンシップなどで人材育成に貢献したい。

(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 六ヶ所研究所副所長 花田 磨砂也氏)

・六ヶ所村は「ゼロカーボンシティ」を宣言している。提示された教育内容の中では、「CO2 排出と回収」の部分にあたると思うが、排出しないようにするのは難しいのが現状である。その中でゼロカーボンを目指すには、カーボンクレジットなどの知識も備えることが重要だと考える。

(六ヶ所村産業協議会 千田 昇氏)

・原子力の基礎から応用について、教育が足りていないのではないかという声を聞く。大学として教育を強化してもらえればと思う。

(一般社団法人青森県工業会 花松 憲光氏)